

令和6年度中区区民意識調査結果がまとまりました！

中区では、区政に対する区民の評価やニーズを調査し、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とすることを目的として、外国人を含む18歳以上の区内居住者4,000人を対象に区民意識調査を実施しました。（前回調査は令和元年度に実施）

■報告書はこちら <https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kusei/tokei/research.html>

1 調査概要

- (1) 調査対象 中区内に居住する18歳以上の方
- (2) 対象数 4,000人（内訳／日本国籍3,500人、外国籍500人）
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送またはインターネットによる回答
（外国籍の方へは、日本語（ルビ付き）・英語・中国語簡体字3種類の調査票を送付）
- (5) 調査期間 令和6年5月24日～6月21日
- (6) 回収結果 有効回収数1,939件（有効回収率48.5%）

2 調査結果のポイント（詳細は添付資料をご覧ください。）

中区定住意向 8割以上の方が中區に住み続けたい

「住み続けたい」が56.7%、「どちらかといえば住み続けたい」が28.1%で、合わせると84.8%となり、令和元年度の前回調査※（82.5%）よりもアップしました。※前回調査では、「長く住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」などとしています。

子育て中の親子にあると良いと思う支援 「子どもを遊ばせる場所」が最も高い

子育て中の親子にあると良いと思う支援について、「子どもを遊ばせる場所」が46.7%と最も高く、「子育ての相談ができる場所」41.2%、「ちょっとした子どもの預かり」35.4%の順となっています。

災害の被害を最小限に抑えるためにしていること

「3日以上以上の飲料水の備蓄」が6割程度。「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」が5割程度。

災害被害を最小限に抑えるためにしていることについて、「3日以上以上の飲料水の備蓄」が61.4%、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」が55.9%となっています。一方で、10.7%の方が「何も準備はしていない」と回答しています。

日本人・外国人との生活で戸惑った経験 日本人、外国人ともに戸惑った割合が概ね低下

日本人・外国人との生活で戸惑った経験があるか尋ねたところ、「ごみの出し方のこと」や「言葉の行き違い」など、戸惑った経験の多くの項目で、元年度の前回調査よりもその割合が低下しています。

お問合せ先

中区 区政推進課長 宮里 弘美 Tel 045-224-8120



GREEN x EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



令和6年度 中区区民意識調査 結果概要

■ 中区定住意向、住むようになった理由

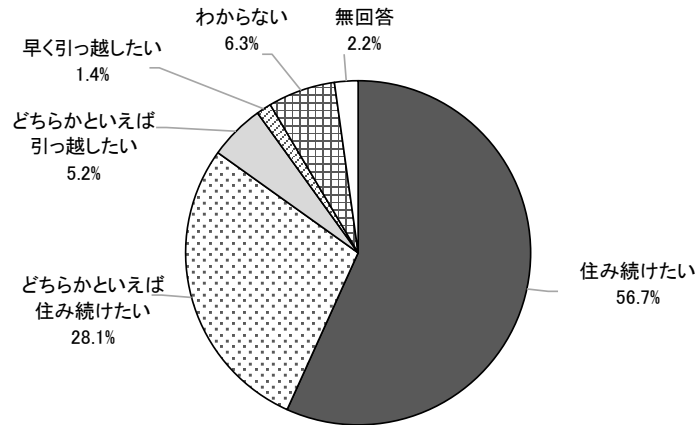
8割以上の人が中區に住み続けたい。住み続けたい理由については、「横浜が好きだから」が最も高い。

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると、84.8%の方が現在の居住地区に住み続けたいという意向をもっています。（令和元年度の前回調査※（82.5%）より上昇）

また、住み続けたい理由については、「横浜が好きだから」が55.2%と最も高くなっています。

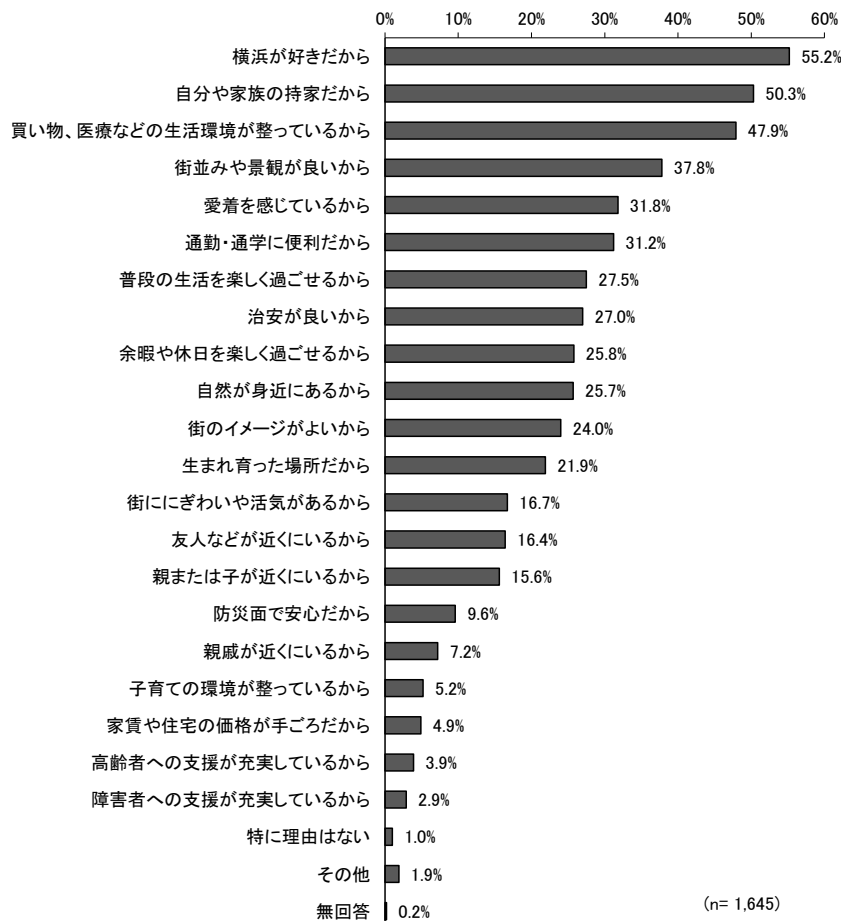
※前回調査では、「長く住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」などとしています。

問18 あなたはこれからも現在お住まいの地区に住み続けたいと思いますか



(n= 1,939)

問7 中區に住むようになった理由（複数回答可）



(n= 1,645)

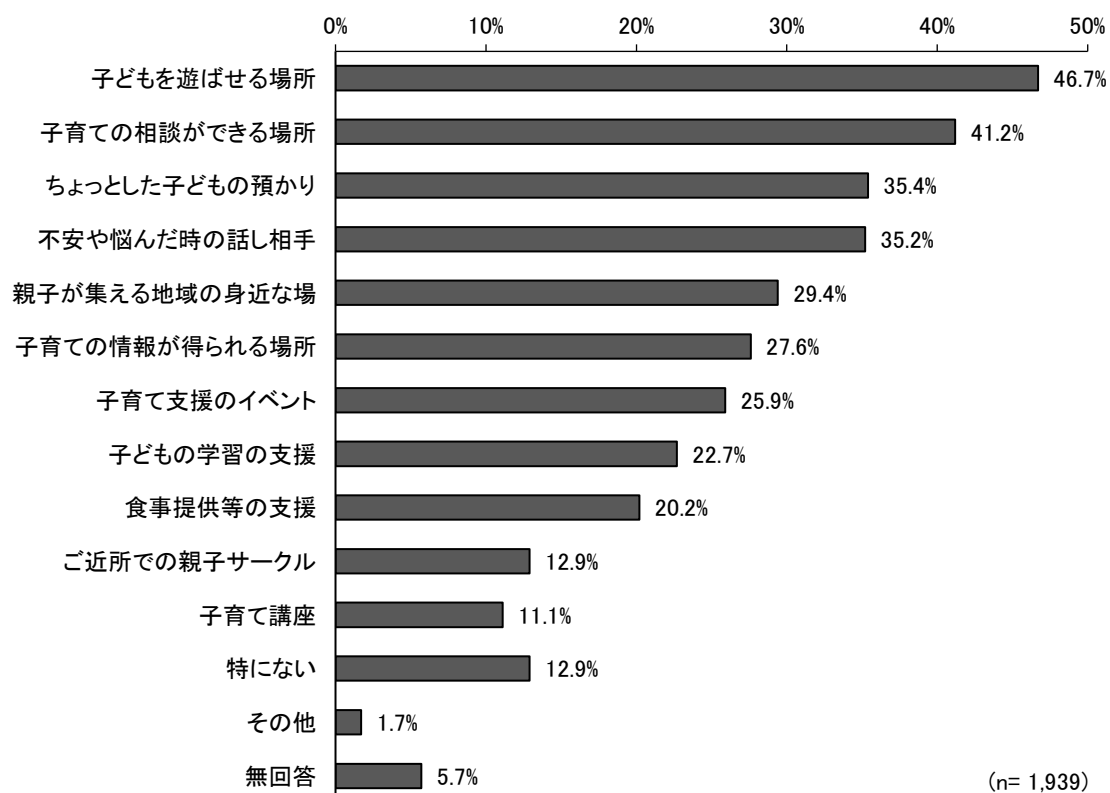
■ 子育て

子育て中の親子にあると良いと思う支援は、「子どもを遊ばせる場所」が最も高い。

「子育ての相談ができる場所」41.2%、「ちょっとした子どもの預かり」35.4%、「不安や悩んだ時の話し相手」35.2%の順となっています。

問10 あなたは子育て中の親子（未就学児や小学生）に対して、地域でどのような支援があると良いと思いますか。

（〇はいくつでも）

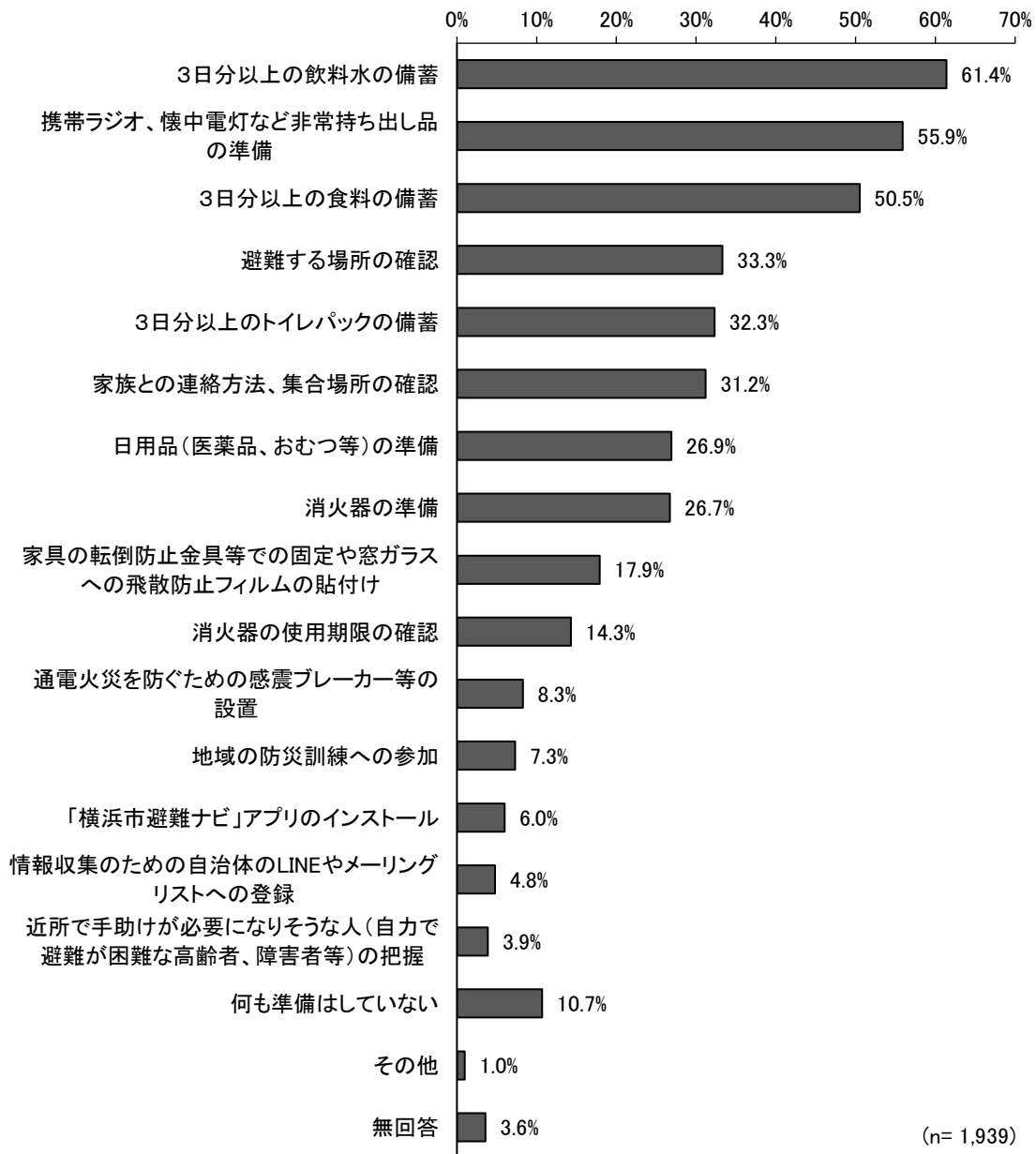


■ 防災

災害の被害を最小限に抑えるためにしていることは、「3日分以上の飲料水の備蓄」が6割強で最も多い。

災害の被害を最小限に抑えるためにしていることは、「3日分以上の飲料水の備蓄」が61.4%と最も高く、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」55.9%、「3日分以上の食料の備蓄」50.5%の順となっている。一方で、10.7%の方が「何も準備はしていない」と回答している。

問 26 災害による被害を最小限に抑えるために、あなたはどのようなことをしていますか。あてはまるものをお答えください。
(〇はいくつでも)



■ 多文化共生

日本人・外国人との生活で戸惑った経験については、日本人、外国人ともに「特にない」がそれぞれ最も高く、次いで「ごみの出し方のこと」「部屋からの声・物音のこと」がそれぞれの上位に。

日本国籍の方に外国人との生活で戸惑った経験があるか尋ねたところ、「特にない」が57.5%と高く、戸惑った内容としては「ごみの出し方のこと」24.3%で最も高い結果となっています。また、外国籍の方への同様の質問では、同じく「特にない」が48.0%と高く、戸惑った内容としては「言葉の行き違い」が23.6%と最も高い結果でした。

なお、元年度の前回調査よりも「特にない」の割合は日本国籍・外国籍の方ともに上昇しており、逆に戸惑った経験の多くの項目では、その割合が低下しています。

問 36. 38 日本人/外国人との生活で戸惑った経験

